

令和7年2月14日

守谷市議会議長 殿

委員長：堤 茂信 印

報告者：小菅勝彦 印

保健福祉常任委員会 視察・研修報告

標記の件について、次のとおり 実施 ・ 参加 したので報告します。

視察・研修日		令和7年1月30日（木）
視察・研修場所		下関市役所 議会委員会室
視察・研修項目		子育てタクシー普及支援事業（しもまちBABYタクシー）
参加者	守谷市側	堤委員長、菊地副委員長、梅木委員、高梨(恭)委員、実好委員、小菅委員、寺田議長、石塚こども未来部長、事務局恩田
	相手側	子育て政策課 峯岡課長、里課長補佐、福永主事、香川議長
視察・研修目的		子育てタクシー普及事業(しもまちBABYタクシー)について
視察・研修内容		「子育てタクシー普及事業(しもまちBABYタクシー)」について状況実績について事前質問の回答を得ると共に実情等について質疑等を行った。
視察・研修総括 （今後の取組み等）		下関市のタクシー運行会社7社77人(R7.1月現在)の認定ドライバーにて24時間体制にて運用しているとの事。 今後、守谷市にて同様の事業が可能かどうかを見極める

視察・研修内容

妊産婦の移動手段と不安を解消することを目的に事業化される。

妊産婦の不安

- ・急な陣痛の時に介助者が不在
- ・妊娠中に自分で自家用車の運転ができるか
- ・自宅からかかりつけ病院まで道案内ができるか
- ・悪天候時に自家用車が出せるのか など

上記不安を解消するために安心して出産を迎えられる環境を提供する。

- ・24 時間、365 日対応
- ・1 人あたり 4 回利用可能
- ・専門研修を受けたドライバーが対応
- ・破水等に備え、バスタオルや防水シートを準備
- ・出産やかかりつけ病院を事前登録することにより道案内が不要 など

事業内容

(1) タクシー事業者に対する支援等

- ・当該移送サービス提供に係る経費を補助 * 1 人あたり 4 回を上限として全額補助
- ・妊婦送迎キット購入等に係る経費を一部補助
- ・助産師による専門研修を業務委託により開催(実績全 5 回)

山口県助産師会の協力にて専門研修を実施

(座学) 妊婦の特徴や妊娠の経過など、妊娠から出産までの状態や、考えられるリスクなど

(疑似体験) 妊産婦の方の立場に立ったサービスを提供できるよう、相応の重量のある妊婦ジャケットを装着した上で実際にタクシーや階段の乗降及びそのサポート役を体験する

(2) デジタル技術を活用したタクシー配車

利用者側は「しもまち BABY TAXI アプリ(ベビタク)」にて利用者登録申請を行い、無料クーポンコード入力により片道 4 回の利用ができる。

タクシー事業者は利用者の呼び出しに対し AI を使った配車システムによって効率よくされる。

- (1) 通常利用の場合は AI システムが自動配車
- (2) 陣痛時(スマホの陣痛ボタン押下) コールセンターと通話し配車
- (3) 各指定タクシーはアプリケーション入のタブレットを無償貸与されている
(各タクシー会社の使用配車システムに影響を与えない)

(3) 事業への参画条件

下関市内に本店、支店、営業所または事務所を有する法人タクシー業社のうち、事業の停止処分等を受けていない者、本事業の趣旨に賛同の上以下の項目に対応協力できる者

- (1) 24 時間体制で本事業によるタクシー配車依頼に対応できる体制を有する。
- (2) 本事業における配車対応要員に対しては、本市が実施する専門研修若しくはこれと同等と認められる研修を受講させること
- (3) 陣痛・破水時の利用に備え、防水シートやバスタオルなどのい必要品を配車対象車両の車内に備えること

下関市のタクシー運行会社数が 7 社、認定ドライバー 77 人が運用アプリ (妊産婦のスマホアプリからの依頼受付) 搭載のタクシーで妊産婦に対応している

事業予算

R5 年 3,590 万円 (決算額 : 1,725 万円)

R6 年 3,300 万円

R7 年 2,058 万円

下関市のタクシー運行会社 7 社 77 人 (R7.1 月現在)

認定ドライバーにて 24 時間体制にて運用

利用妊産婦 (アプリ登録者) 数 731 人 (R7.1 月現在)